

系統連系の事前相談に対する回答誤りについて

2025年3月31日
関西電力送配電株式会社

配電系統への発電設備の接続（以下、「系統連系」）を検討されている事業者さまによる事前相談に対し、当社の回答内容に一部誤りがあることが判明しました。

事前相談とは、系統連系を検討されている事業者さまが、事業性判断等を簡易的に行うため、連系制限の有無や連系可能な最大受電電力（空き容量）等について、送配電事業者に任意で確認するものです。

これに対する当社の回答内容に一部誤りを確認したことから、本日より、対象となる事業者さまへ順次ご連絡をしております。

事業者さまをはじめ、関係者の皆さまにご迷惑をおかけしたことについて、深くお詫び申し上げます。

なお、本件発覚以降、速やかに担当部署への再教育等を実施しており、現在は正しい回答をしていることを確認しております。

当社は、このような事案を発生させたことを真摯に受け止め、同様の事象を発生させないよう、再発防止対策の徹底に努めてまいります。

以上

別紙：系統連系の事前相談に対する回答誤りについて

系統連系の事前相談に対する 回答誤りについて

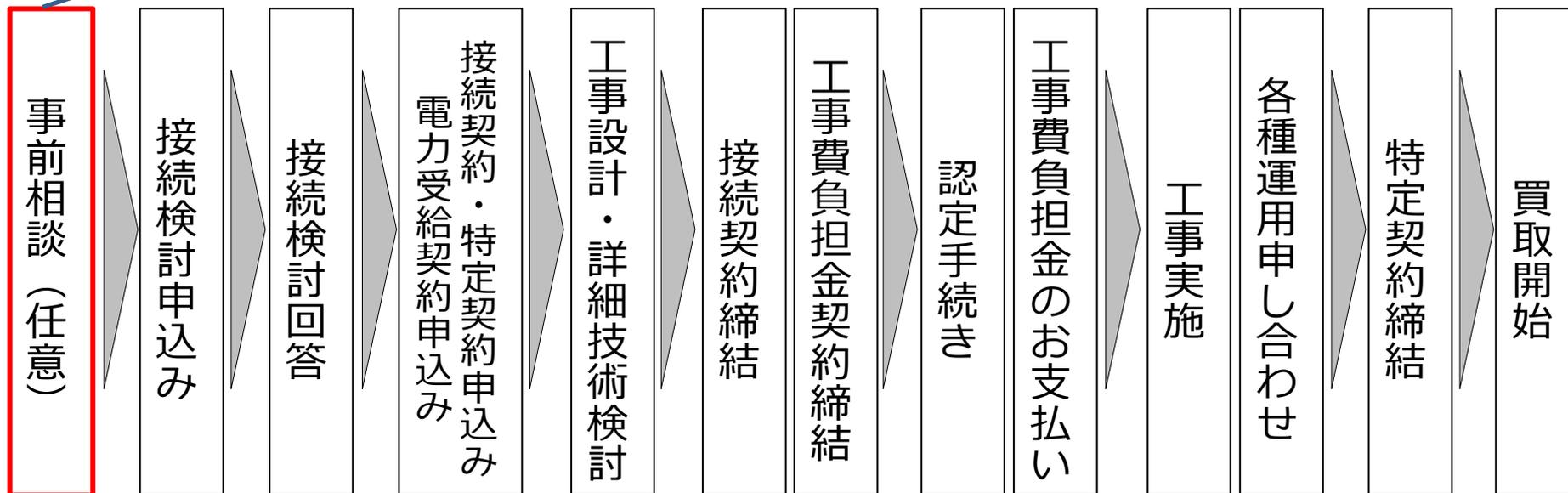
2025年3月31日
関西電力送配電株式会社

1. 発電設備を当社系統に接続されるまでの流れ

【事前相談】

- 事業者さまが、発電等設備を電力系統に接続するにあたり、「接続検討申込み」前に任意で、以下に関する簡易な相談を行うもの。
 - 最寄りの配電用変圧器の熱容量に起因する連系制限の有無
 - 配電用変圧器の逆潮流（以下、バンク逆潮流）の発生の有無
 - 連系点から連系予定配電用変電所までの線路巨長 等

今回、回答の誤りを確認



2. 回答誤り判明の経緯および全社調査結果

- 2025年2月、他社における「系統接続に係る事前相談業務における回答誤りと対応」を受け、当社においても同様の回答誤りがないか調査したところ、回答内容に一部誤りがあることを確認。
- これを受け、配電系統への事前相談について記録が残っている過去5年分について全数調査（2020年3月～2025年2月）を実施し、以下件数の回答誤りがあることが発覚した。

【全数調査結果】

総件数	正回答	誤回答
14,942	9,369	5,573

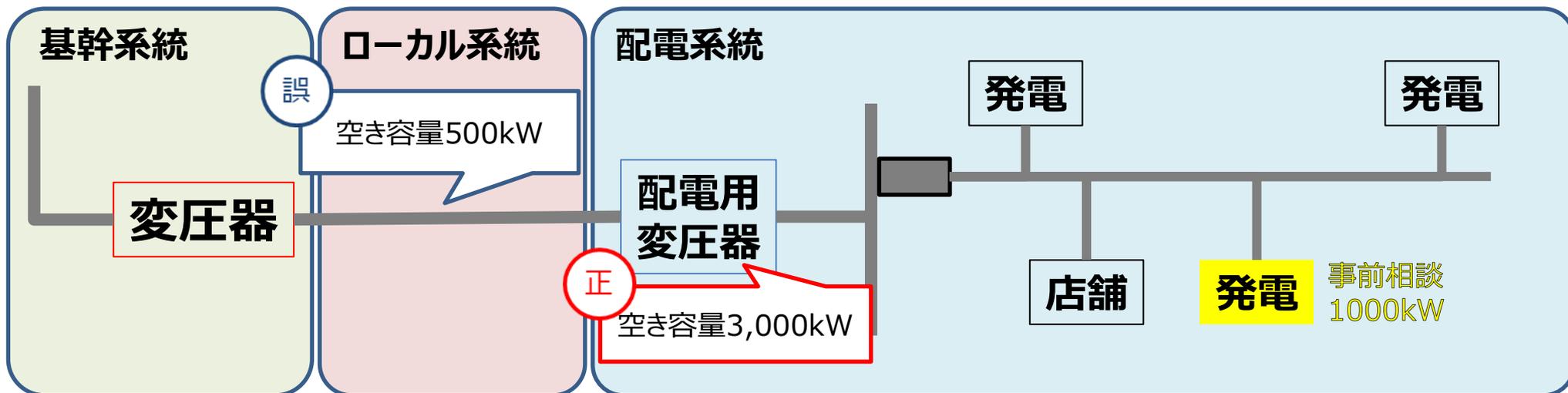
【主な回答誤りの内容】 ※①、②の両方に含まれる対象：90件

	主な回答誤り	件数
①	本来「配電用変圧器」の熱容量に起因する連系制限の有無を回答すべきところ、上位系統（基幹系統・ローカル系統）の設備の容量を加味して回答した。	354
②	配電用変圧器の逆潮流について、回答項目の目的を理解せず、「バンク逆潮流対策工事を実施せずに連系可能な最大受電電力」という回答様式の記載内容を文言通り受け止め、工事を実施している場合でも、「連系可能な最大受電電力：0 kW」と回答した。	4,560
③	配電用変圧器の逆潮流について「バンク逆潮流の発生に伴う連系制限の有無」と受け止め、バンク逆潮流対策工事を実施済みの場合は、制限なしという意味で「バンク逆潮流なし」、工事未実施の場合は制限ありという意味で「バンク逆潮流あり」と回答したものなど。	749

3. 主な回答誤り ①

354件の誤回答（①、②の両方に含まれる対象件数90件）
 ※事前相談回答書の項目順に記載

- 本来、「配電用変圧器」の熱容量に起因する連系制限の有無を回答すべきところ、上位系統（基幹系統・ローカル系統）の設備の容量を加味し、回答をしてしまったことにより、連系制限がないにもかかわらず、「連系制限あり・連系可能な最大受電電力:500kW」と回答。



正

熱容量に起因する連系制限の有無 ^{*1}	最大受電電力に対する [連系制限なし]・[連系制限あり]	
連系制限ありの場合の連系可能な最大受電電力 ^{*1}	—	kW

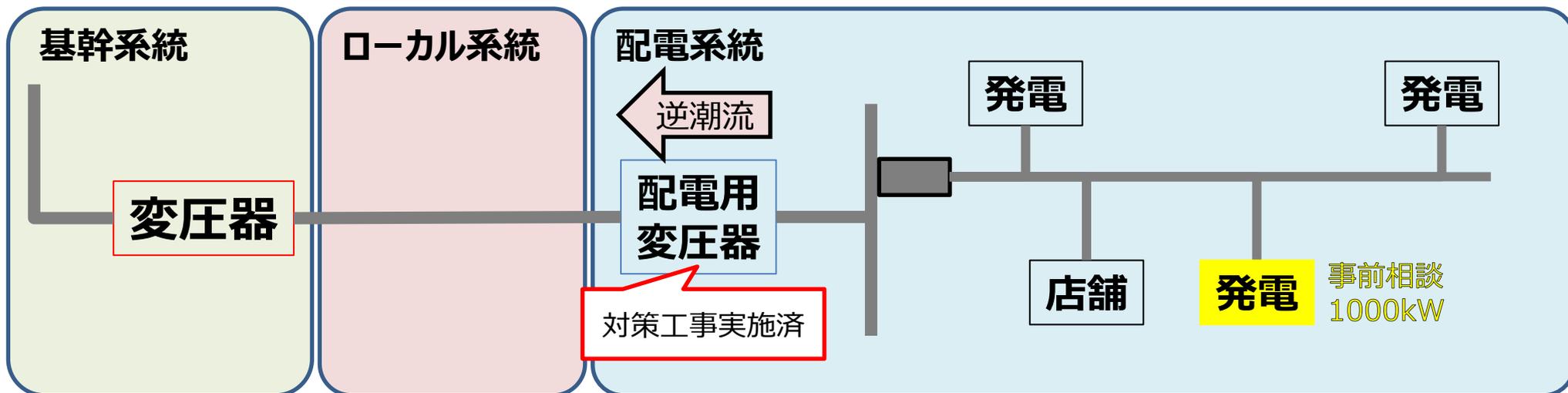
誤

熱容量に起因する連系制限の有無 ^{*1}	最大受電電力に対する [連系制限なし]・[連系制限あり]	
連系制限ありの場合の連系可能な最大受電電力 ^{*1}	500	kW

3. 主な回答誤り ②

4,560件の誤回答 4

- 配電用変圧器の逆潮流について、回答項目の目的を理解せず、「バンク逆潮流対策工事を実施せずに連系可能な最大受電電力」という回答様式の記載内容を文言通りに受け止めたことにより、工事を実施している場合でも、「**連系可能な最大受電電力: 0 kW**」と回答。



正

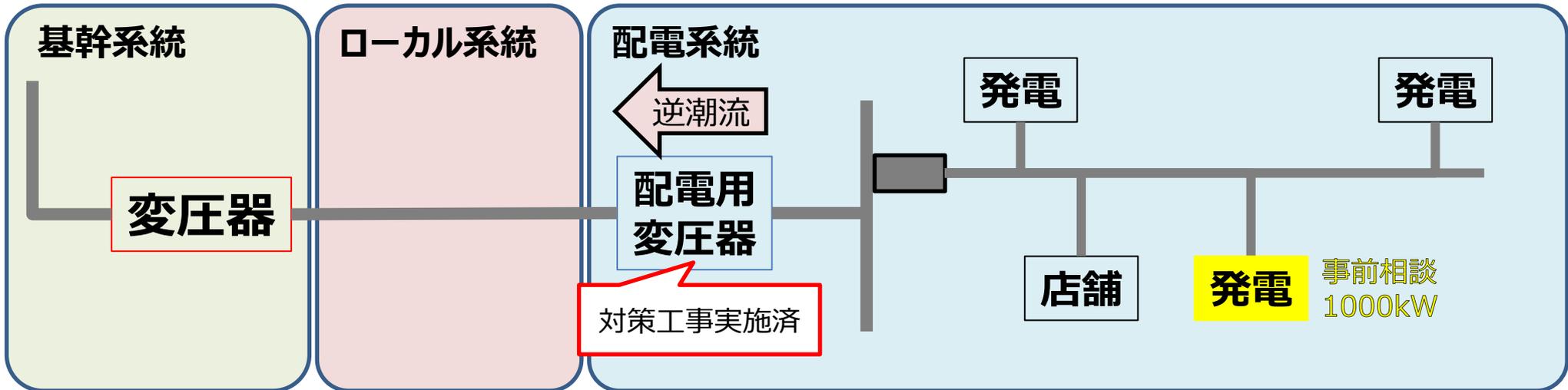
バンク逆潮流発生の有無	最大受電電力・連系制限ありの場合の連系可能な最大受電電力に対する [バンク逆潮流の発生なし]・[バンク逆潮流の発生あり]	
バンク逆潮流対策工事を実施せずに 連系可能な最大受電電力	— kW	

誤

バンク逆潮流発生の有無	最大受電電力・連系制限ありの場合の連系可能な最大受電電力に対する [バンク逆潮流の発生なし]・[バンク逆潮流の発生あり]	
バンク逆潮流対策工事を実施せずに 連系可能な最大受電電力	0 kW	

3. 主な回答誤り ③

- 配電用変圧器の逆潮流について、「バンク逆潮流の発生に伴う連系制限の有無」と受け止めたことにより、バンク逆潮流対策工事を実施済みの場合は、制限なしという意味で「**バンク逆潮流なし**」、対策工事が未実施の場合は、制限ありという意味で「**バンク逆潮流あり**」と回答したものなど。



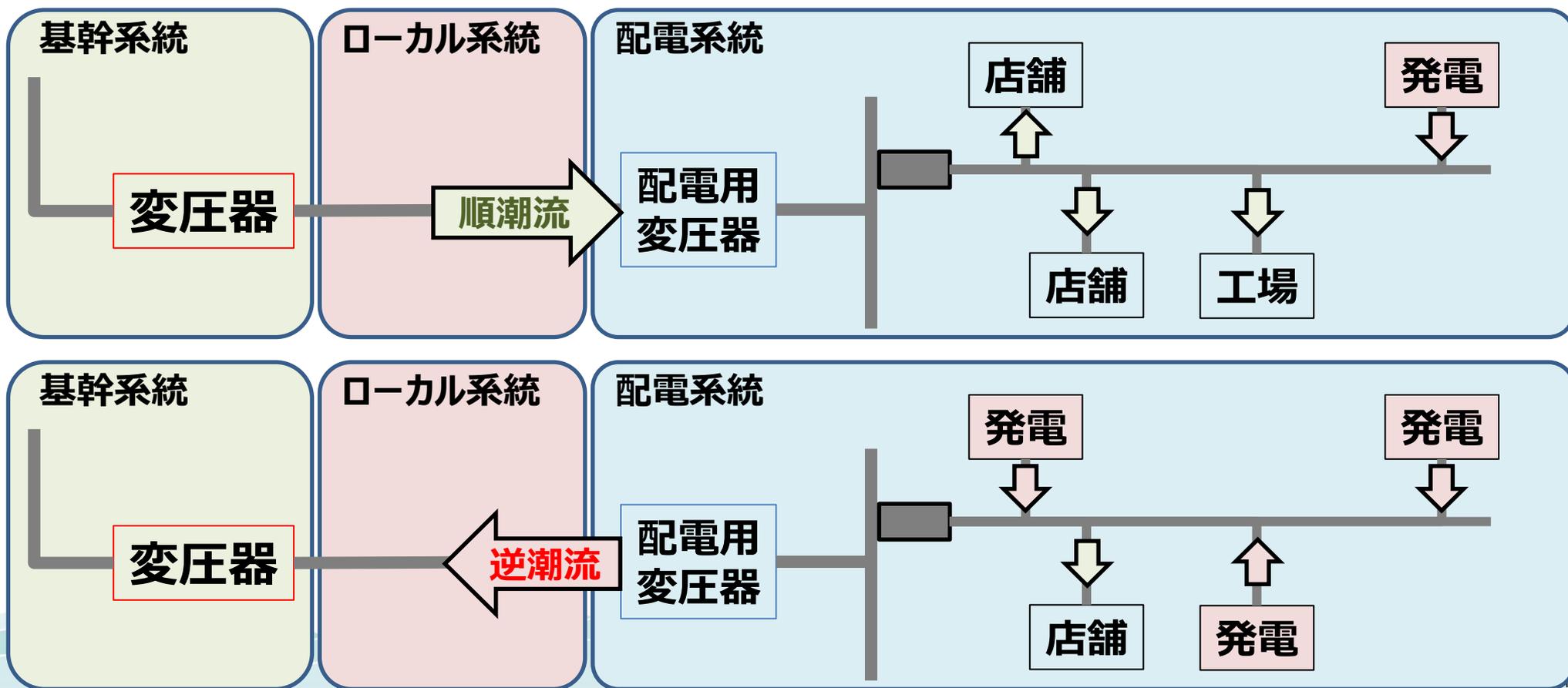
正

バンク逆潮流発生の有無	最大受電電力・連系制限ありの場合の連系可能な最大受電電力に対する [バンク逆潮流の発生なし]・[バンク逆潮流の発生あり]	
バンク逆潮流対策工事を実施せずに 連系可能な最大受電電力	— kW	

誤

バンク逆潮流発生の有無	最大受電電力・連系制限ありの場合の連系可能な最大受電電力に対する [バンク逆潮流の発生なし]・[バンク逆潮流の発生あり]	
バンク逆潮流対策工事を実施せずに 連系可能な最大受電電力	— kW	

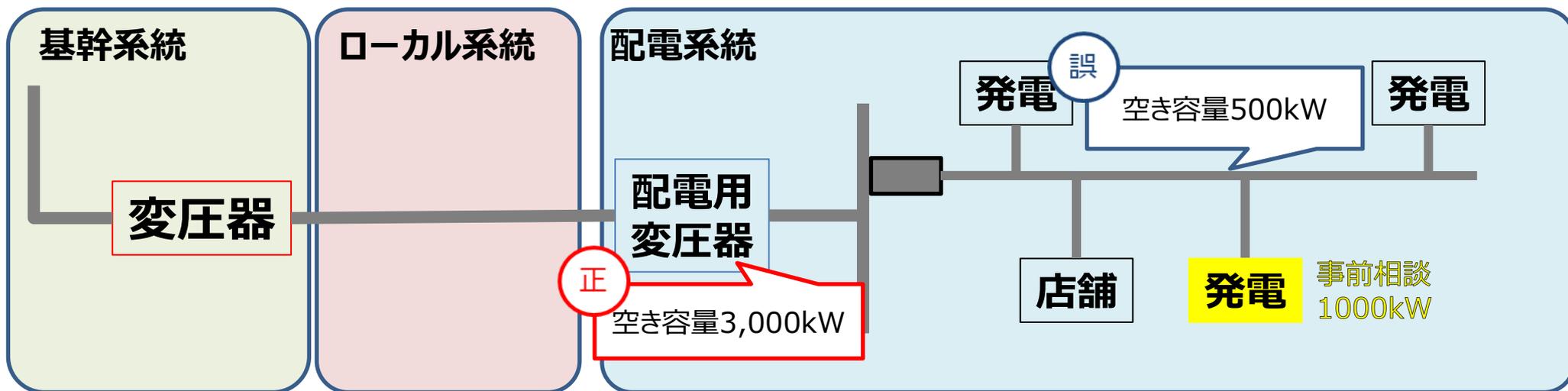
- 配電用変圧器（バンク）に流れる電流の向きを「順潮流」・「逆潮流」という。
- 具体的には、配電系統において、発電量よりも使用量が多い場合、配電用変圧器から配電系統に向けて流れることを、「順潮流」という。
- 一方、配電系統において、使用量よりも発電量が多い場合、順潮流とは電流の向きが逆となり、配電用変圧器からローカル系統に向けて流れることを、「逆潮流」という。



【参考】他の事例

4,060件の回答（本事例と②の両方に含まれる対象件数2,022件） 7

- 事前相談の段階では「配電用変圧器」の熱容量に起因する連系制限の有無のみを回答すべきところ、次のステップである接続検討で確認すべき配電線等の容量を加味して回答した事例を4,060件確認。



正

熱容量に起因する連系制限の有無 ^{*1}	最大受電電力に対する [連系制限なし]・[連系制限あり]	
連系制限ありの場合の連系可能な最大受電電力 ^{*1}	—	kW

誤

熱容量に起因する連系制限の有無 ^{*1}	最大受電電力に対する [連系制限なし]・[連系制限あり]	
連系制限ありの場合の連系可能な最大受電電力 ^{*1}	500	kW